
サマースクール 1 ～LED工作ペットボトル作り～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 地球温暖化について考え、省エネとしてのLEDについて学ぶ。
- 期 間 平成29年7月26日(水)
- 時 間 午前10時～11時30分 (計1.5時間)
- 対象・定員 市内在住の小学4～6年生 20人
- 参加者 19人
- 講師 サンケン電気株式会社 管理本部CSR室 関 裕一
- 事業内容 新座市にあるサンケン電気 CSR室のもと、地球温暖化と地球にやさしいLEDについて学ぶ。

○ま と め

講座の前半は、「省エネについて考えてみよう」と題して、地球の環境問題、省エネルギーの大切さ、LED（発光ダイオード）についての話があった。三択クイズやプロジェクターを使った説明で、生徒たちも集中し、多くの挙手があった。小学生の知識の豊富さに驚かされた。後半は「ペットボトル作り」の工作で、フィルムに好きな絵や文字を使って「夢」を描き、9色から好きなLED色を選んでペットボトルを完成した。

サンケン電気CSR室の方々の手際も良く、説明も楽しかった。感想でも、LEDの事がよく分かった、省エネのことを理解して生活に生かしたい等の意見があった。サンケン電気の方にも、「集中力があり積極的で良かった。」とお褒めの言葉を頂いた。



サマースクール 2 ～日時計って何だろう？～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 太陽の位置で時間が分かることを学び、日時計を作る。
- 期 間 平成29年8月26日(土)
- 時 間 午前10時～正午 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生 20人
- 参加者 13人
- 講師 新座星座クラブ 斉藤 政登
- 事業内容 太陽の位置で時間が分かることを学び、日時計を作る。
- まとめ

20人の申し込みがあったが、当日は13人の参加となった。その内9人が高学年だった。コンパスの話から始まり、太陽の動きと影の話に合わせて、飛行機から見た地球の影、富士山の影などの珍しい写真が紹介された。月の影として8月22日にアメリカで見られた皆既日食の説明と講師が現地に行って撮影した写真が紹介された。少し低学年の児童には難しそうだったが、日時計の工作になると、集中して取り組むことができた。日時計が完成した時に丁度陽が差してきたので、屋外に出て皆で北を確認して時刻を読むことが出来た。

次回の皆既日食は18年後の2035年9月2日という話に驚いていた。講座を通して、科学を身近に感じ、興味を持つ機会となれば良いと思う。



紙ひこうき、つくって、あそぼう！

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 創る楽しさ、飛ばす喜びを知ってもらう。
- 期 間 平成29年12月26日（火曜日）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の3歳～小学生・30人
- 参加者 33人
- 講師 のびっこおはなし隊
- 事業内容 英字新聞などを使って、紙ひこうきを作って楽しむ。
- まとめ

2才から小学6年生が参加し、特に3才が5名、小学1年生7名と多かった。のびっこおはなし隊の方による注意事項説明、飛行機製作指導後、幼児と小学生に分かれて、環境にやさしいトウモロコシ製の紙でコンテストを行った。

皆さん真剣で、飛行距離も正確に測られ、それぞれの飛行距離を記録したカードが配られた。三位まで表彰状も渡され、楽しい時間となった。シンプルな遊びや幼児が安心して走り回る空間を大切にしたい。



のびのびのびっこ絵本のお部屋

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 地域の小学生に絵本の読み聞かせをする。
- 期間 平成29年4月4日～平成30年3月27日までの毎週火曜日
(計49回)
- 時間 午後4時～4時30分 (夏時間)
午後3時30分～4時 (冬時間)(計24.75時間)
- 対象・定員 市内在住の乳幼児から小学生(保護者同伴可)
- 参加者 20人 参加延べ人数 566人
- 講師 のびっこおはなし隊
- まとめ

当初小学生を対象としていたが、実際は幼児が8割を占めていた。参加者は平均12人/日で前年比78%である。特別企画のクリスマスお話会も49人から35人に減少をされていて、参加者も「絵本のお部屋」からの参加者が多く、広がりが無い。広報を見ての応募は4人だった。広報の掲載文章に変化がなく、工夫が必要である。毎週火曜日に開講をしているので、安心をして来館いただけるようでリピーターの方が多い。内容的には、大型絵本を使ったり、手遊びを組み合わせたり、ギターの手奏で歌ったりと、いかに小さい子どもと楽しい時間を過ごせるか、のびっこおはなし隊が工夫をしている。

次年度は年間を通して3時30分開講としたので、より参加し易くなると思う。親子で共に過ごす時間、居場所として、大切に育てていきたいと思う。



クリスマス飾る 小学生のフラワーアレンジ

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 花は、生活に潤いや癒しを与えてくれ、また植物を大切にす
る心を育む情操教育の一助として開設する。
- 期 間 平成29年12月23日（土曜日）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生（1～6年生）・25人
- 参加者 28人
- 講師 フラワーデザイナー協会名誉本部講師 斯波直美
- 事業内容 クリスマスに飾るフラワーアレンジに挑戦する。
- ま と め

申込み初日の数時間で定員に達し、キャンセル待ちの児童も講師と調整して28人で開催した。

ミニシクラメンの鉢植えを中心に据え、それを飾るクリスマスリースを制作した。参加児童は、1・2年生12人、3・4年生9人、5・6年生7人であった。

リース制作のパーツが10数個あったが講師とアシスタントが一人一人確認しながら丁寧に指導していただき、低学年の児童も2時間頑張っ取り組んだ。完成した作品を見て、児童は大満足の様子であった。



ひな祭りを飾る

小学生のフラワーアレンジ

〈野火止公民館〉

○開設の趣旨 埼玉県（国は農林水産省）が推進している「花育体験」事業の一環としてフラワーデザイナー協会の協力の下、子どもたちに花を愛する心、育てる心の育成の一助として開催した。

○期 間 平成30年2月24日（土曜日）

○時 間 午前10時～正午（計2時間）

○対象・定員 市内在住の小学生（1～6年生）・28人

○参加者 28人

○講師 フラワーデザイナー協会名誉本部講師 斯波直美

○事業内容 ひな祭りに飾るフラワーアレンジに挑戦する。

花材 ルスカス、スターチス、菜の花、カーネーション、トルコキキョウ、ヒペリカム、レースフラワー、ストック、スイートピー、菜の花の葉

○ま と め

前回のフラワーアレンジ同様、申込み初日の数時間であっという間に定員に達した。講座名が「ひな祭りを～」ということで女子児童だけの応募であった。

参加児童は、1・2年生12人、3・4年生9人、5・6年生7人であった。

かわいいケースにオアシスを入れ、講師が指す順番を指示しながら用意された花材をそれぞれが自由にアレンジしながら制作に取りかかった。

クリスマスリースにも参加した児童も数人おり、全員が完成したフラワーアレンジにより教室は華やかな雰囲気にも包まれた。

最後に、管理の方法等の説明を受け大切そうに持ち帰った。

「花育体験」事業の一環として実施したため、参加費（材料代等）は無料で行えた。



たんぽぽ学級

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 地域の親子が仲間作りのきっかけとなり、共に子育てを楽しみながら、学ぶことを目的とする。
- 期間 平成29年6月2日～30日までの毎週金曜日（計5回）
- 時間 午前10時～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の2歳児から就学前の子どもとその親
15組30人、公開講座 各20人
- 参加者 14組28人、1人（親のみ）、公開講座9人
参加延べ人数 105人
- 参加費 400円（材料費）
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容	講 師
1	6月 2日（金）	1部 親子でリトミック 2部 人形劇を楽しむ	中村真由美 人形劇あおむし
2	6月 9日（金）	絵本とともに！	のびっこおはなし隊
3	6月16日（金）	講話「良い叱り方、悪い叱り方！」 （公開講座）	日本上級教育カウンセラー 酒井 恵
4	6月23日（金）	絵手紙でリフレッシュ！	日本絵手紙協会公認講師 吉鶴 洋子
5	6月30日（金）	昔の遊びを楽しもう！ （公開講座）	遊びの学校主宰 菅原 道彦

○ま と め

今回からは親子に限定せず、親のみの参加も可として行った。第1・2回を親子同室として第1回は、リトミック・人形劇は親子で楽しみ少しずつ慣れてもらうようにした。第2回は、講師や受講者からの本の紹介で、読んだ事の無い、今まで選ばなかったような本を知る良い機会が持てた。第3回では受講者が、親と子になり、叱り方を実演した。第4回の絵手紙は、「久しぶりに集中して絵を描けて楽しかった。」とひとときの自分の時間を楽しんでいただけたようだ。第5回の昔の遊びは、用具を使わぬ手遊びで、待ち時間などに子供と一緒に楽しめそうである。

ビスコーニュを作ってみませんか？

～フランスのかわいい針山～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 　　いつまでも色褪せない、クロスステッチで作るフランスの針山を作る。
- 期　　　　　間 　平成29年10月12日～26日までの毎週木曜日　（計3回）
- 時　　　　　間 　午後1時～3時30分　（計7.5時間）
- 対象・定員　　市内在住又は在勤の方・12人
- 参加者　　　　12人　参加述べ人数34人
- 参加費　　　　1,000円　（材料費）
- 講師　　　　　戸塚刺しゅう協会　師範　松本　文子
- 事業内容　　　ビスコーニュを作る。
- まとめ

申込み当日20分程で定員に達し、その後も申込みが続くほどの反響があった。初日はベースが黒地で刺しゅうも少し難しかったので戸惑っている人が多かった。後半には目も慣れて刺しゅうも進み少し余裕も見られるようになった。2日目には夢中で刺しゅうをして仕上がる人もいた。3日目は、完成して余った時間に先生の厚意で用意された生地と糸でブローチを作った。

アンケートで、「難しかったが、先生方の丁寧な指導で仕上げる事ができました。」「楽しい時間が過ごせた。」「時間を忘れるほど夢中になりました。」「きれいな作品だから頑張れた。」という意見をたくさん頂いた。

少し難しかったが、完成度の高い作品を提供できて良かった。先生方の行き届いた指導で、参加者が手を休める事無くできたのが良かったと思う。



手作り布ぞうり教室

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 家庭で使わなくなった布などを利用して布ぞうりを作る。
- 期 間 平成29年4月26日(水)・27日(木)全2回
- 時 間 午前9時30分～正午 (計5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・12人
- 参加者 12人 参加延べ人数 24人
- 参加費 100円(材料費)
- 講師 リメイクの会 藤山 百合子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	4月26日(水)	手作り布ぞうりを作る
2	4月27日(木)	

○ま と め

毎年行われている講座だが、今回も応募者が多く短時間で締め切りとなった。前日のキャンセルにも対応して参加して頂き、12人全員参加することができた。「下準備が大変でしたが、編み始めると楽しかった。」「指導が分かりやすかった。」「難しかったが、家でも作ってみたい。」などの意見を頂いた。参加者はとても熱心に取り組んでおり作品がよく出来た。また、講師のジャケットやパンツも着物のリサイクルでできていて、そのような講座も企画してほしいという意見が多数あった。いろいろな形のリサイクル講座の企画の必要性を感じた。



「働く女性の講座」企画準備会

〈野火止公民館〉

○開設の趣旨 今年度開催予定の「働く女性の講座」について、市民参加により身近で親近感の持てるテーマで、学習や体験をする内容の講座を企画する。

○期 間 平成29年6月24日～7月15日までの毎週土曜日（計3回）

○時 間 午後1時30分～3時（計4.5時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・6人

○参加者 5人 参加延べ人数 14人

○事業内容

回	月 日	内 容
1	6月24日（土）	「働く女性の講座」の開催予定日及び、講師、内容について
2	7月 8日（土）	講師候補の決定及び交渉順について、講師の日程について
3	7月15日（土）	講師候補の進捗状況、各講座の内容、担当について、講座の全体のテーマについて

○ま と め

昨年度から企画準備会を6月からの開催としたが、来年開催されるようであれば金曜日の方が都合がよいと意見があった。

講座の内容については、シングルマザー・日韓問題・女性史・性暴力・家族史・家事節約など、企画準備委員から活発な意見が出た。

今年度は3回の予定だったが、とても熱心な方が多く予算内で5回の開催をしたいと強い要望があり講座の枠を5回に増やした。

「働く女性の講座」

〈野火止公民館〉

○開設の趣旨 市民参加の企画準備会で企画された講座で、働く女性を取り巻く様々な問題（身近で親近感の持てるテーマ）について学習や体験をすることにより、活力を生む場を提供する。

○期 間 平成29年10月27日（金）・11月4日（土）
11月10日～24日までの毎週金曜日（計5回）

○時 間 午後7時～9時 11月4日のみ午後3時～6時（計11時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の成人・30人（4日は24人）

○参加者 11人 参加述べ人数61人

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容	講 師
1	10月27日（金）	戦争に加担した女達 ～女性作家を中心に～	女性文学研究者 長谷川 啓
2	11月 4日（土）	らくらくパンづくり	料理研究家 大栗 郁美
3	11月10日（金）	台湾で女性の政治参加が進んだ ワケ 理由	フリーライター 竹内 絢
4	11月17日（金）	シングルマザーのハッピーライフ ～実践編～	NPO法人しんぐるまざあ ず・ふおーらむ理事長 赤石 千衣子
5	11月24日（金）	私が出会ったハルモニ達（日本軍 性被害者）	写真家 信川 美津子

○ま と め

毎回13人前後の参加があった。一回のみの参加予定の方が、後半の講座にも興味をもって頂き、また参加してくれたのが良かった。

毎回、質問がたくさんあり時間が足りないくらいだった。



おいしい焼き菓子～マカロン～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 おいしくて、おしゃれなマカロンを焼き、ちょっとした手作りギフトを楽しむ。
- 期 間 平成29年12月8日（金曜日）
- 時 間 午前10時～午後12時30分 （計2.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・16人
- 参加者 16人 （保育5人）
- 参加費 500円（材料費）
- 講師 管理栄養士 鈴木 香
- まとめ

申込みは初日の30分程で定員に達した。保育もあったので幅広い年代の応募があった。講師のデモンストレーションの後に、1テーブル4人で作業にあたった。講師に依頼の際にマカロンは難しいという指摘を受けたが、お願いして講座を開講した。実際に講師はきれいにできたが、受講生はあまり上手にできなかった。受講生からは「マカロンを作れると思っていなかったの、嬉しかった。」等喜んでいただけただが、調理内容のレベルという点で、検討の余地があったように思う。残ったクリームを持ち帰りたいと、容器を要求されたが、そういった事の対処にも困った。次回から、講座の初めに持ち帰りは出来ないの、全て食べて頂くように説明したいと思う。



野火止用水探訪～新座から羽村へ～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 新座市に流れる「野火止用水」は、どこから始まっているのか、羽村市の取水堰からバスで辿ってもらう。
- 期 間 平成29年9月21日（木曜日）
- 時 間 午前9時～午後4時30分（計7.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 18人
- 講師 新座市教育委員会・学芸員 斯波 治
- 事業内容 野火止用水の源流から訪ね、歴史から学ぶ。
新座市内を流れる『埼玉県指定史跡「野火止用水」』の源流を訪ね様々な視点から学び、今後の保存・継承活動の一助とし大切な文化遺産を後世につなげる。

ルート

ふるさと新座館⇒羽村取水堰・陣屋跡⇒羽村市郷土博物館⇒野火止用水取水口《小平監視所》⇒東村山市恩田野火止水車跡近くの大ケヤキ⇒ふるさと新座館

まとめ

受付初日の数10分で定員に達してしまうほどの関心の高さであった。当日は晴天に恵まれ絶好の研修機会となった。車中及び現地では、講師により野火止用水の歴史や自然について多岐にわたる説明があり参加者は、熱心に耳を傾けていた。また、羽村市郷土博物館では、館の学芸員により、玉川上水の仕組みや歴史について丁寧な説明を受けた。

それぞれの研修先で参加者・講師が熱心となり、予定時間をオーバーしてしまい市内の史跡公園の視察をキャンセルしてしまっただが、有意義な一日となり参加者も満足していた。



異文化を知る～ネパール～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 ネパールの文化、歴史、生活を学ぶ。
- 期 間 平成29年11月8日(水)、15日(水)(全2回)
- 時 間 午前10時～正午 11月15日は午前10時～午後12時30分(計4.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 13人 参加延べ人数21人
- 参加費 700円(材料費)
- 講師 リジャー ル ビーナ
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月 8日(水)	歴史、地理、王政廃止、震災後のネパールの様子などの講演
2	11月15日(水)	調理(大根とひき肉のカレー、かぼちゃのネパール風胡麻和え、チャ(ミルクティー、デザート)

○ま と め

講師は朝霞市在住でネパール出身の方である。震災後の話や歴史、王制、廃止されたカースト制の話など多方面に渡って話を聞くことができた。サリーの試着体験もできて和やかな講座となった。調理実習では、スパイスの使い方やネパールでは料理に砂糖を使わないなど学ぶところが多くあった。「異文化を知る」講座は大いに意味があると講座を終えて実感した。男性の参加が全体の1/3あったのも良かったと思う。



暮らしとゆとりの講座

〈野火止公民館〉

○開設の趣旨 日常生活を意識することで、暮らしを豊かにするヒントの講座。

○期間 平成30年1月9日～30日までの毎週火曜日 (全4回)

○時間 午前10時～正午 2月6日のみ2.5時間(計8.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 20人 参加延べ人数 69人

○参加費 1,540円(材料費)

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	1月 9日(火)	気功太極拳	気功太極拳師範 黒田 千種
2	1月16日(火)	椿油のすごい力!	ナチュラルライフ 研究家 佐光 紀子
3	2月 6日(火)	今年からはじまる減塩生活 (ちょっとした工夫で毎日 の食卓をヘルスアップ)	管理栄養士 松前 節子
4	1月30日(火)	いきいき美容室 ハンド&ネイル編	資生堂ライフクオリ ティ事業部

○ま と め

1月23日が雪の為2月6日に変更となり、1月30日の時点で5人のキャンセルが出た。参加者は40代から70代と幅広く、4回の講座でいろいろな気づきがあり、楽しかったとの感想も得た。講座が進むに従って、受講者の表情が明るくなり、楽しい時間を共有できたと思う。



「源氏物語」を読み解く

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 源氏物語をいろいろな観点から読み解く。源氏物語絵巻の読み解き方を学ぶ。
 - 期間 平成30年2月20日～3月13日までの毎週火曜日（全4回）
 - 時間 午前10時～正午（計8時間）
 - 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
 - 参加者 44人 参加延べ人数145人
 - 講師 国文学研究者 棚木 恵子
 - 事業内容 第1回 『源氏物語』のテーマは何だろう？
第2回 歴史の中の『源氏物語』
第3回 『源氏絵巻』の世界
第4回 国宝『源氏物語絵巻』を読み解く
- まとめ

すぐに定員に達したので、5人増員して45人とした。男性が2割参加と言うのも、他の講座では見られないことである。内訳は、60代－16人、70代－13人、80代－4人（アンケート回答33人）。源氏物語に興味があるのは勿論のこと、棚木先生の講座はとても分かり易く、魅力的なので参加したいという方も多数いた。源氏物語は、愛憎・世襲問題など色々な観点から読めることが分かった。

また、三十五巻若菜下、四十巻御法の講義を「源氏絵巻」、「源氏物語絵巻」、神殿作りの図を用いて説明されたので、より具体的に理解が深まった。「源氏物語絵巻」は、人物の大きさ、立ち上がっているか否かなど、全てに意味あり読み解き方は興味深かった。参加者はとても向学心があり、事前の勉強や源氏物語絵巻などの資料を用意している方も多いのには驚いた。

講座の終了後には、窯変源氏や現代訳本にも挑戦したい。源氏物語の講座を継続してほしいという意見が多数あった。



パソコン講座～計算式・関数編～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 パソコンのエクセル機能を使って、ルールの確認、ゲームを取り入れて数字を楽しく遊ぶ。
- 期 間 平成29年12月9日（土曜日）
- 時 間 午後3時～5時 （計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方でエクセルの基本操作ができる方・14人
- 参加者 13人
- 講師 新座市教育委員会 斉藤 政登
- 事業内容 計算のルールと関数を学ぶ。
- まとめ

募集対象をエクセルの基本操作ができる方と絞ったが、多少ばらつきがあった。

講師の方にオリジナルテキストを作っていたが、わかりやすい説明だったが、計算式が正しく入力できず、苦労している場面もしばしば見られた。慣れてきたところで、応用問題をやっていったが最後まではできなかったのが家でやってみるといふ方もいた。

一回きりの講座だったので、もっと回数を増やしてほしいという要望もあったので検討していきたい。

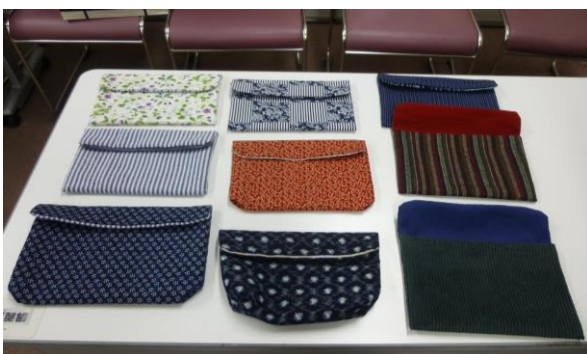


絹地で作るお雛さま

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 今のお雛さまは殆どポリエステル生地を用いて作られている。末永く飾れるように全てを絹地で作り、毎年ひな祭りを楽しむ。
- 期間 平成30年1月25日～2月8日の毎週木曜日（全3回）
- 時間 午前9時30分～正午（計7.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 12人 参加述べ人数36人
- 材料費 1,000円
- 講師 パッチワーク・キルト講師 三ツ矢 美代子
- 事業内容 絹地で、お内裏様とお雛様を作る。
- まとめ

受付は初日1時間程で定員に達した。先生のご厚意で12人に増員した。絹地は着物を裁断して作られ、大変手間が掛かったものだった。参加者は40代から70代と幅広く、手芸初心者も数名いたが、雛人形の可愛らしさに支えられて全員仕上げる事ができた。講座は和やかな雰囲気、楽しい時間を過ごして頂けたようだ。余った時間で、端布で作れる簡単仕様のポーチも作成した。



シニア向けスマホ入門講座

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 スマホ初心者やこれから使用を考えている人を対象に利用方法などを学ぶ。
- 期 間 平成29年12月22日（金曜日）
- 時 間 午後1時30分～3時30分 （計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方で60才以上の方・20人
- 参加者 19人
- 講師 NTTドコモインストラクター
- 事業内容 らくらくスマートフォンを使用して基本的な操作をする。
- まとめ



今回、初めてスマホ講座を行ったが、やはり大変人気でしばらく申込み希望が続いた。

2時間という短い時間だったが、4人のグループに1人のアシスタントの方がついてくれたので、基本操作から災害時の使用方法まで行うことができた。

実際に同じ機種を持っている方も数人いたが、新しい発見もあったようで参加して良かったという声もあった。

受講できなかった方がたくさんいたので、また次年度も開催できるよう検討したい。



熟年者たちの自由学校

〈野火止公民館〉

○開設の趣旨 いつまでも若々しくいられるよう、地域の方と共にいろいろなことにチャレンジし学ぶ。

○期 間 平成30年2月23日（金）～3月17日（土）（計4回）

○時 間 午前10時～正午

2月23日午前10時～午後1時（3時間）

3月17日午後2時～3時（1時間）（計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方で概ね55歳以上の方・20人

3月17日は制限なし・200人（公開講座）

○参加者 12人（3月17日158人） 参加延べ人数192人

○参加費 1,300円（材料費）

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	2月23日（金）	うどん打ち	新座のうどん打ち 高橋 由夫、斯波 治
2	3月 2日（金）	苔玉作り	フラワーデザイナー協会 名誉本部講師 斯波 直美
3	3月 9日（金）	スポーツ吹き矢体験	スポーツ吹き矢協会支部長 岩崎 隆
4	3月17日（土）	薩摩琵琶鑑賞 （公開講座）	谷中琵琶スタイル 久保田 晶子 川島 信子

○ま と め

今年には館内授業のみだったせいか、応募者が少なく女性のみでの参加となった。内容は全4回で、実際に体験して学んでもらう構成にした。①は、粉から混ぜ合わせ、こねる・延ばす・切る・茹でるまでの工程を行ったが、こねる・延ばすが大変だった。その分、自分で打ったうどんは格別のような感じだった。②は、普段なかなかやらない土いじりが楽しそうで、完成した苔玉が真ん丸でとても可愛らしく受講者は嬉しそうだった。③は、誰も体験したことがなく、講師の話に集中して聴いていた。初めてでも的の命中率が高く、全員とても楽しそうだった。④は、講座としての出席率は悪かったが、公開講座として募集したところ151名の観覧があった。薩摩琵琶の二人の弾き語りには珍しく、どの話も引き込まれていくような感じがした。参加者は満足いく授業だったと思う。

夏休みこども映画館

〈野火止公民館〉

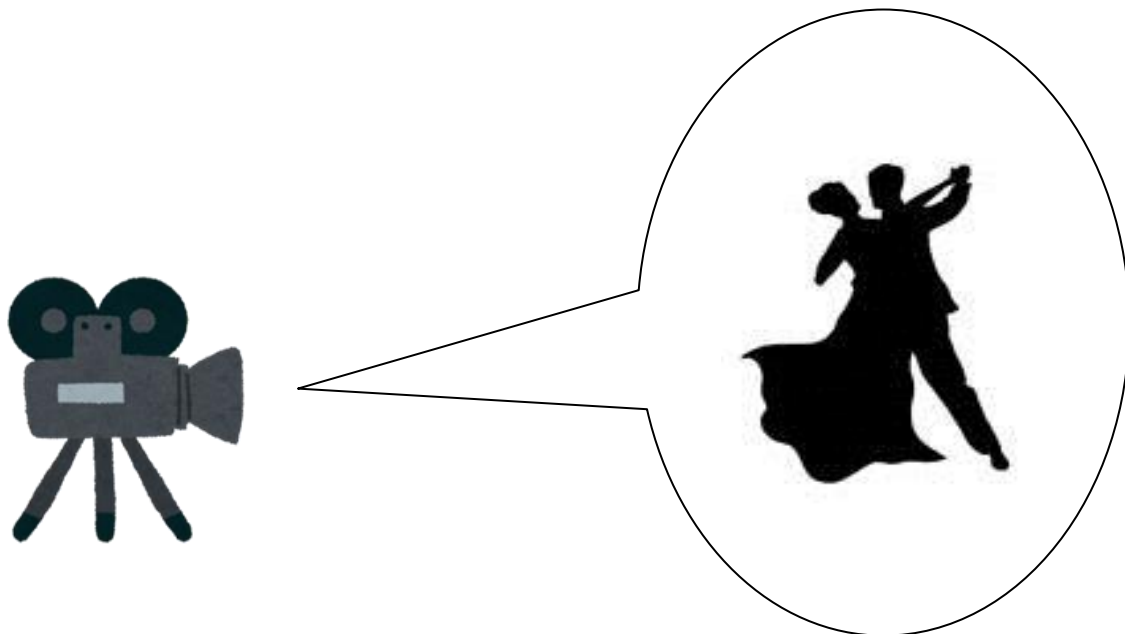
- 開設の趣旨 親子を対象に、こども向けの映画を上映し、夏休みのイベントのひとつとして楽しんでもらう。
- 期 間 平成29年8月5日（土曜日）
- 時 間 午後1時～3時45分（計2.75時間）
- 対象・定員 市内在住の子どもとその保護者・200人
- 参加者 32人（こども19人・大人13人）
- 事業内容 「ふしぎの国のアリス」と「ガリバー旅行記」の2本を上映。
- ま と め

当日までの申し込みがやや少なく、キャンセルも心配されたが、1組以外は全員参加だった。昨年は当日参加が20人ほど来たので少し期待をしていたが1人も来なかったので残念だった。

参加者が少ないながらも、子どもたちは静かに映画鑑賞してくれてアンケートもしっかりと記入してくれた。

上映時間が2本とも70分以上あったが、全員2本鑑賞してくれた。

もう少し新作が上映できれば集客が増えると思われるが、現状難しいところである。



クリスマスコンサート

～歌とピアノで織りなす至高の音楽を～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 小さい子どもと一緒にクラシック音楽を楽しむ。
- 期間 平成29年12月16日(土)
- 時間 午後1時30分～3時 (計1.5時間) 開場1時
- 対象・定員 制限なし・200人
- 参加者 112人
- 講師 ソプラノ 岩崎 京子 ピアノ 高山 美佳
- まとめ

応募が139人あったが、キャンセルが10人、連絡無し欠席が31人、当日参加者14人で、参加者は112人となった。家族での申込みが多く、人数の変動が大きいように思える。「楽しかった。」「遠くまでコンサートに出かけられないので、参加出来て嬉しい。」等の意見を頂いた。プロの方を招いてのコンサートを多くの方々に参加して頂くために、広報のみで無く、広く市民の方々の目に留まる方法を考えたい。

〈プログラム〉

- 1部 1. ゴールドベルク変奏曲～アリア <ピアノ>
- 2. アヴェマリア : カッチーニ
- 3. ああベツレヘムよ : 讚美歌
- 4. アメイジング グレイス :
- 5. クリスマスジャズ : <ピアノ>
- 6. ホワイトクリスマス :
- 7. 星に願いを :
- 8. 聖夜 :
- 2部 9. ヴェネツィア～眠れる水の上に
- 10. 水の戯れ : <ピアノ>
- 11. ロンドンデリーの歌
- 12. Stand alone :
- 13. オペラ ”トスカより 歌に生き愛に生き
- 14. マイウェイ



人権学習

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 日常生活における差別や偏見について考え、意識を持っていくことを目的とする。
- 期 間 平成29年6月24日（土曜日）
- 時 間 午前10時～10時30分（計0.5時間）
- 対象・定員 公民館利用団体代表・100人
- 参加者 66人
- 事業内容 利用者懇談会の中で、ビデオ視聴により人権問題について学ぶ。
- まとめ

利用者懇談会の中で、DVD「風の匂い」を視聴した。

平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行された。この法律では、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めている。障害のある人は社会の中にあるバリアによって行動の制限や不当な扱いを受けるなど、生活しづらい状況におかれることがある。このバリアは物理的な問題だけではなく、障害のある人への差別意識や知識不足からも生まれている。私たち一人ひとりが意識を変えて、「バリア＝壁」をなくしていかなくてはならない。

この作品は、スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公である。歩には知的障害があるが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」だった。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。

二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけになったと思われる。